

ジョイサポコラム No.28

韓国語勉強に燃える毎日

追浜駅前ようこレディースクリニック 木下 容子



안녕하세요? (アンニョンハセヨ?)

この春に一人息子が下宿を始め、私の子育てはほぼ終わりを迎えました。このままだと空の巣症候群になりそうだなと思っていたところ、衣笠病院外科で働いている大学の1年先輩と久しぶりに再会しました。そこで彼女が韓国語を熱心に勉強していることを知りました。空の巣症候群にならないために自分も何か新しい趣味を見つけないかと思っていたので、彼女が以前師事した韓国語の先生を紹介してもらいました。週1回くらいのペースで習うつもりで気軽にその先生にコンタクトしたところ、「最初の3か月は週6回(!?)のペースで受講してください」と言われました。新しい言語は毎日触れないと習得できませんと…確かに中学1年生の時から学校で英語の授業は毎日あったし、学校にプラスして塾も通って、6年間ほぼ毎日英語に触れたのに大して上手になりませんでした。未知の言語を習得するためには、週6回やって当然かと腹をくくりました。

そして4月から私の韓国語ライフが始まりました。毎日仕事が終わって19時からクリニックでZOOMの授業を受けます。授業後に残業をして帰宅できるのは21時頃。そこから毎日韓国語の宿題を1～2時間やる生活です。

韓国語の知識は皆無だったので、まずは文字を習得するところから始めました。韓国語は子音が19種類、母音が21種類あります。日本語は母音が5種類しかないのでこの時点で大パニックです。同じオでも口を大きく開けて発音する오(オ)と口をつぼめて発音する오(オ)と言った具合に、母音の種類が豊富であり、これを正しく発音しないと通じないのです。ハングル(韓文字)は発音記号でできていて、子音記号と母音記号を組み合わせで一文字になっています。一文字の中で上か左側が子音、右か下側が母音でできており、子音と母音を覚えると、意味は分からなくても読めるようになります。最初の1週間で母音と子音を覚え、今まで意味不明の記号だと

思っていたハングルを読めるようになった時は感動しました。先生と宿題をやりとりのために、パソコンやスマホのキーボードにハングル入力を追加し、ハングルのブラインドタッチを覚えました。キーボードの左半分が子音、右半分が母音で構成されており、ブラインドタッチを覚えるとハングルでの入力が可能になったのです。そこからは毎日新しい文法を覚え、単語を覚えの繰り返しです。

4か月勉強した力試しにと8月に家族でソウルへ旅行しました。私にとっては生まれて初めての韓国旅行でした。ソウルは英語や日本語が上手な方が多く、正直韓国語が話せなくても全く困らない感じでしたが、ネイティブの方に果敢に韓国語で話しかけてみまし

た。ある韓国の方に「4か月でこんなに喋れるなんて天才ですか？」と言っていたいた時は、4か月の過酷な努力が報われた気がして心から嬉しかったです。

韓国語ができるようになって、仕事で使うわけではないし、この先どこを目指せば良いか正直分かりません。でも新しいことを勉強する面白さ、充実した毎日にはとても満足しています。ゴールは見えないですが、当面は私の韓国語勉強熱は冷めそうにありません。新しい世界を教えてくれた衣笠病院の亀井奈津子先生に心から感謝です。奈津子先生、これからもハングルでLINEしましょうね！
여러분,건강하고 행복하게 지내세요.皆様、健康でお幸せにお過ごしください。